

会 議 録

会 議 名	令和7年度第2回小金井市史編さん委員会		
事 務 局	生涯学習課 文化財係		
開 催 日 時	令和7年10月28日（火）午前10時00分から午前11時00分		
開 催 場 所	市役所第二庁舎801会議室		
出 席 委 員	根岸委員長 牛米委員 中嶋委員 井上委員 神山委員 大熊委員		
欠 席 委 員	日高委員		
事 務 局 員	神山副市長（委員兼任） 濱松生涯学習課長 碓井文化財係長 高木主任（学芸員） 海谷文化財センター職員		
傍 聴 の 可 否	可	傍 聴 者 数	0名
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由			
	<p>1 第7期市史編さん委員委嘱状交付</p> <p>2 委員長、副委員長の互選</p> <p>3 議 題</p> <p>(1) 令和8年度以降の事業計画について</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 「ビジュアル版 小金井市史（仮）」について</p> <p style="padding-left: 20px;">イ 市民協力員及び調査員の活動について</p> <p>(2) 古文書調査及び市史編纂資料集について</p> <p>4 報 告</p> <p>(1) 多摩郷土誌フェアについて</p> <p>5 その他</p> <p>(1) 小金井第一小学校の校内遺跡について</p> <p>6 次回の会議日程</p> <p style="padding-left: 20px;">令和8年2月5日（木）15:00～ 801会議室</p>		

会 議 結 果

濱松生涯学習課長	<p>皆様おはようございます。本日はご多忙の折、令和7年度第2回市史編さん委員会にご出席賜り、ありがとうございます。</p> <p>本日の市史編さん委員会ですが、日高委員がご欠席となっております。</p> <p>それでは、議題に先立ちまして、本日の配布物の確認をさせていただきます。</p>
碓井文化財係長	<p>(資料確認)</p>
濱松生涯学習課長	<p>1 第7期市史編さん委員委嘱状交付</p> <p>本日は、第7期市史編さん委員会の第1回目の会議となりますので、委嘱状を交付させていただきます。</p> <p>(委嘱状交付(机上交付))</p>
濱松生涯学習課長	<p>なお、任期につきましては、令和7年8月20日から令和10年8月19日までの3年間となっております。なお、第7期の委員につきましては、全委員が再任となっております。</p> <p>では、委嘱状交付に当たり、市長の代理といたしまして、副市長の神山より委員の皆様にご挨拶を申し上げます。</p>
神山副市長	<p>おはようございます。副市長の神山でございます。このたびは引き続き委員のほうをお引き受けいただき、ありがとうございます。</p> <p>本来であれば、市長の白井よりご挨拶申し上げるべきところでございますが、他の公務がございますため、大変恐縮ではございますが、市長よりメッセージを預かっておりますので、私の方で代読させていただきます。</p> <p>小金井市では、令和6年度に、多くの市民・市民団体・市内事業者の皆様の大きなお力添えをいただき、「名勝小金井(サクラ)名勝指定100周年記念事業」を実施させていただきました。</p> <p>そして今後は、その大きな足跡を市のレガシーとして、「市史編さん事業」においても生かしていかなければならないと考えております。</p> <p>本委員会におきまして現在進めていただいている「ビジュアル版小金井市史(仮)」刊行に向けての取組も、どうしても高度に専門的である「郷土史」に、多くの市民、特に明日の小金井市を担う次世代の子どもたちに親しんでいただくことで、郷土愛の醸成につなげていくことを目指している、という点におきまして、大きな取組の一つとなると認識してございます。</p> <p>そして、その実現のためには、本委員会の委員の皆様におかれましては、「専門家」としてのお知恵をお借りさせていただくとともに、市民目線の観点からのご意見もお頂戴することが必要不可欠であると</p>

濱松生涯学習課長	<p>考えております。 これから3年間、引き続き何卒よろしく願いいたします。</p> <p>ありがとうございました。</p>
濱松生涯学習課長	<p>2 委員長・副委員長の互選 続きまして、委員長・副委員長の選任を行わせていただきます。「小金井市史編さん委員会条例」第5条の規定により、委員長・副委員長につきましては、委員の中から互選することとなっています。</p>
大熊委員	<p>選出方法は、推薦によりたいと思います。どなたか推薦される方はいらっしゃいませんか？</p>
委員全員	<p>引き続き根岸委員にお願いできれば、と思いますがいかがでしょうか？</p> <p>(異議なし)</p>
濱松生涯学習課長	<p>ありがとうございます。根岸委員、いかがでしょうか。</p>
根岸委員	<p>よろしく申し上げます。</p>
濱松生涯学習課長	<p>ありがとうございます。 それでは、ここで議事進行を根岸委員長に替わります。根岸委員長、よろしく願いいたします。</p>
根岸委員長	<p>それでは、よろしく申し上げます。 全委員再任ということで、皆様長期に渡り「市史編さん事業」にご尽力いただいている方々ですので、今後ともぜひご協力をよろしく願いいたします。 それでは、議題に入ります前に、副委員長の互選を行わせていただきます。 選出方法は、推薦によりたいと思います。どなたか推薦される方はいらっしゃいませんか？</p>
大熊委員	<p>牛米委員にお願いできれば、と思いますがいかがでしょうか？</p>
委員全員	<p>(異議なし)</p>
根岸委員長	<p>ありがとうございます。牛米委員、いかがでしょうか。</p>
牛米委員	<p>よろしく申し上げます。</p>

<p>根岸委員長</p>	<p>3 議 題 (1) 令和8年度以降の事業計画について ア 「ビジュアル版 小金井市史（仮）」について それでは、「3 議題」の「(1) 令和8年度以降の事業計画について」の「ア 『ビジュアル版 小金井市史（仮）』について」につきまして、事務局より説明をお願いいたします。</p>
<p>碓井文化財係長</p>	<p>まず私の方から、これまでの「市史編さん委員会」におきまして、委員の皆様より課題としてご指摘を賜っておりました、リライト編集作業を今後本格的に進めていく上での「人員体制」につきまして、ご説明させていただきます。</p> <p>今後リライト編集作業を本格化させていくに際し、「人員体制」の点につきまして、庁内におきまして検討させていただきました結果、やはり何らかの「テコ入れ」は必要であろう、という結論に達し、一定の対応に向け準備作業を進めさせていただいているところです。</p> <p>一定の予算措置を要する内容となりますため、「令和7年度 第2回 市史編さん委員会」におけるご報告といたしましては、この程度に留めさせていただきたく存じますが、今後予算面も含め、市としての一定の方針が決定した際には、本委員会におきましても遅滞なくご報告させていただければ、と思いますので、何卒よろしく願いいたします。</p> <p>私からは以上です。</p>
<p>海谷文化財センター職員</p>	<p>続きまして、スケジュール案についてご説明いたします。</p> <p>最終的な刊行時期は、令和10年秋頃を予定しています。体裁は紙冊子と同時に、メディア等で閲覧可能な「データ版」の刊行も予定しております。</p> <p>令和8年度末を目途に「原稿案（初案）」を完成、令和9年度に本委員会の委員及び編集委員による監修作業を行っていただき、令和10年度に完成、という想定をしております。</p> <p>続きまして、文面の内容について、章立ては、時代別の6章構成を予定しており、見開き2ページに1記事とし、全部で66記事を作成することとしています。文字サイズは、「ビジュアル版」という側面も考慮し、通常より少し大きい「11ポイント」を想定しております。</p> <p>本書において最も肝となりますのは、「写真」や「図版」において何を「見せる」のか、という部分になりますので、その部分については、本委員会委員及び編集委員の皆様にご助言をいただきながら選択していく部分になるかと思います。</p> <p>例えば、江戸時代では、時期毎に高低差が表現できる地図を掲載し、江戸時代初期の検地帳を元に、場所と地名、年貢の納付の有無が1枚の地図で概観できるようにします。</p>

根岸委員長	<p>ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、何かご意見・ご質問等はございますか？</p>
井上委員	<p>いよいよ「ビジュアル版」の刊行に向けた作業が始まったのだな、ということを実感いたしました。</p> <p>日本史の教科書の「始点」となる時代が今一度問い直されるなど、変化が多い状況の中で、執筆に当たっていただく皆様は非常に大変でいらっしゃると思いますので、テレビを見ていると、世界史における「古代史」も再検討されている時代であり、興味深いです。</p> <p>何卒よろしく申し上げます。</p>
根岸委員長	<p>令和7年10月28日時点におきましては、本委員会・編集委員会議の場で委員の皆様には様々なご意見をいただいている状況であり、少しずつ具体的になっていっている、という状況でございます。</p> <p>他にご意見・ご質問等はございますか？</p>
大熊委員	<p>紙冊子と同時に「データ版」を刊行される、とのことで、子どもたちにとっても触れやすいものになることが期待でき、非常にうれしく思っています。</p> <p>「データ版」はおそらくPDF形式のものになるかと思いますが、「見開きA3」サイズですと、原寸大ですとPCの画面から溢れてしまう、一方でPCの画面に全体が収まるサイズに縮小してしまうと、文字が小さくなってしまい読みづらくなってしまう、という悩ましい状況が想定されますので、何らかの対応法がないか、ご検討をお願いできれば、と思います。よろしく申し上げます。</p>
神山委員	<p>やはり「絵」が入ることで「親しみやすさ」や「読みやすさ」がグッと増し、「ビジュアル版」の魅力を再確認させていただいたところ です。</p> <p>ただ、文字数が多くなるとどうしても「圧迫感」が生じてしまったり、雰囲気が変わってしまったり、という印象を受けますので、「文字数を減らす」作業の大変さについては理解しますが、やはり「ビジュアル版」の特長である「見せる」という部分を重視していただき、親しみやすい1冊にしていただければ、と思います。</p>
根岸委員長	<p>ありがとうございました。他にご意見・ご質問等はございますか？</p>
牛米委員	<p>今後編集作業が本格化していきますが、紙媒体の冊子の編集作業と、データ版の編集作業は別々の作業である、と感じており、まずは紙媒体の冊子の編集作業に注力し、その上で、データ版においてどういった工夫ができるのかを検討していく、そういった順序になろうかと思っています。</p>

中 嶋 委 員	<p>内容面につきましては特にございませんが、作業量やスケジュールの点で無理が生じないように進めていくことが重要と考えます。</p>
根 岸 委 員 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>大熊委員より、データ版の活用手法についてご意見をいただきましたが、例えば図の部分だけをJ P E Gデータとして「コピー」「ペースト」することが可能になれば使いやすくなるのでは、とも思いますし、教育現場における活用の幅も広げられるのでは、と思います。</p> <p>せっかく「ビジュアル版」を刊行しますので、「図」の扱いや用途等についてはどのような工夫ができるのか、検討する意義はあると考えます。</p>
海谷文化財センター職員	<p>「データ版」の作成に際し、紙媒体の冊子をそのままP D F化するのではなく、文章部分と図版部分のデータを別個で扱うことは技術的に可能と思われまますので、今後検討させていただければ、と思います。</p>
根 岸 委 員 長	<p>令和10年度の刊行までの間も、P C機器の稼働領域は日々広がっていくと考えますので、その状況にも目を配りつつ、より良い形を検討していくことができれば、と考えております。</p> <p>また、「令和10年度」と聞くとまだ先のことも感じられますが、決してスケジュール的に余裕のある状況ではないとも考えますので、そういった部分につきましても今後「市史編さん委員会」「編集委員会」の場で議論していければ、と考えていますので、委員の皆様におかれましてはよろしくお願いたします。</p> <p>他にご意見・ご質問等がございますか？</p>
委 員 全 員	<p>(特になし)</p>
根 岸 委 員 長	<p>イ 市民協力員及び調査員の活動について</p> <p>それでは、「3 議題」の「(1) 令和8年度以降の事業計画について」の「イ 市民協力員及び調査員の活動について」につきまして、事務局より説明をお願いいたします。</p>
高木主任(学芸員)	<p>「市民協力員」は2名の市民の方(閑野 寿幸氏・美谷島 恵子氏)に委嘱しています。また、より専門性の高い調査・研究に携わっていただく目的で、1名の方(柏木 一朗氏)を「調査員」として委嘱させていただきます。</p> <p>今後進めてまいります「小金井市史 ビジュアル版(仮)」の編集作業、そして継続的に行っております「古文書調査」を進めることができます。</p> <p>市民協力員の閑野氏には現地確認を含め資料収集を、美谷島氏には</p>

<p>根岸委員長</p>	<p>古文書調査においてそれぞれ多大なるご協力をいただいております。 調査員には、特に近現代史に係る資料収集にご尽力をいただいております。</p> <p>本市の市史編さん事業は、市民協力員・調査員のご協力なしには成り立たないものと考えており、令和8年度以降も、現体制を維持してまいりたい、と考えております。</p> <p>ありがとうございます。ただいまの説明につきまして、何かご意見・ご質問等はございますか？</p>
<p>委員全員</p>	<p>(特になし)</p>
<p>根岸委員長</p>	<p>(2) 古文書調査及び市史編纂資料集について それでは、「3 議題」の「(2) 古文書調査及び市史編纂資料集について」につきまして、事務局より説明をお願いいたします。</p>
<p>高木主任(学芸員)</p>	<p>本市の「市史編さん事業」の1つの柱といたしまして、「古文書等の古い資料の翻訳・翻刻を定期的に行っている。」ことが挙げられ、その結果を活字化して書籍に纏め、多くの市民の方に公開させていただく、という流れが、「市史編さん事業」の根幹となっております。</p> <p>本市では、未整理の状態の古文書が膨大にございますことから、計画的に調査を進めていければ、と考えております。</p> <p>この10年間は、「梶野新田梶野家文書」の調査をメインに進めており、その成果は、鋭意「小金井市史編纂資料」として活字化しております。</p> <p>寄託資料「梶家文書」も、非常に重要な古文書でございますので、今後、調査計画をたてて参ります</p>
<p>根岸委員長</p>	<p>ありがとうございます。ただいまの説明につきまして、何かご意見・ご質問等はございますか？</p>
<p>委員全員</p>	<p>(特になし)</p>
<p>根岸委員長</p>	<p>「古文書調査業務」につきましては、大学院生時代そして前身の市誌編さん委員会の委員拝命を含めておよそ50年間、携わらせていただいておりますが、古文書を1点1点、すべて翻刻していくことによって、非常に膨大な量がございますので、すべてを「市史編さん事業」に直接的に生かすことができたわけではございませんが、活用できた資料も非常に多くありますし、非常に貴重かつ多様な内容の古文書の翻刻版を、長期に渡り書籍として継続的に刊行している、そのこと自体が小金井市の「市史編さん事業」の大きな特徴の1つであり、東京都全体を見渡しても、これだけ長期的に継続することができているの</p>

	<p>は小金井市が唯一なのではないかと思っておりますので、今後も地道に取り組んでいくことが非常に重要であると考えています。</p> <p>「梶野新田梶野家文書」の翻刻作業につきましては、令和7年10月28日現在、すべて完了してはいないものの、終盤には差し掛かっている、という状況です。</p> <p>古文書の翻刻作業の実情といたしまして、すべてを順番通りに作業を進めていく、ということではなく、保存状況が悪く解読不能なものや、帳面の一部しか残されていないものは整理した上で後回しにしていますが、「梶野新田梶野家文書」の翻刻作業におきましては、未翻刻の資料はほぼすべて「後回しになった」帳面であり、仮に翻刻作業をこれ以上継続したとしても、「完結した」形での資料にはならないことが見込まれることから、作業の優先順位について生涯学習課と協議させていただいているところです。</p> <p>先ほどご説明をいただいた「梶家文書」をご寄託いただいた「梶家」につきましては、小金井市域において中世以来続いている家柄であり、江戸時代初期以降の文書をご寄託いただいていることから、小金井市史において非常に重要と考えられる資料が多く含まれている可能性も高いことに鑑み、そちらの翻刻作業を優先していく、という選択肢も含め、今後検討させていただければ、と思います。</p> <p>何かご意見・ご質問等はございますか？</p>
牛米委員	<p>「梶家文書」につきましては、帳面の撮影作業は行っているのでしょうか？</p>
根岸委員長	<p>現状においては撮影作業には取り掛かれていません。</p>
牛米委員	<p>「梶野新田梶野家文書」の翻刻作業を長期に渡り継続してきた、そのことの意義は非常に大きいと思いますが、「完結した」形での資料にはならないことが見込まれる作業の翻刻作業をこれ以上継続することより、小金井の成り立ちに大きく関わっている「梶家」文書の翻刻作業に取り掛かることを検討しても良いのでは、と考えます。</p>
根岸委員長	<p>ご寄託をいただきました「梶家文書」の中には絵図も多く含まれており、野川沿いの水田・村々・用水の様子などが描かれており、小金井市域における「新田開発」の歴史を考える上では、どうしても台地部分におけるそのイメージが強いのですが、元々は野川沿いに水田があり、古い村々があって、それを基盤としながら、北側に向かって台地部分を切り開いていった、という小金井市史の基盤となるような時代の資料が多く含まれていることが見込まれることから、個人的には早く翻刻作業を開始したい、という思いがあります。</p> <p>他にご意見・ご質問等はございますか？</p>

委員全員	(特になし)
根岸委員長	<p>4 報告</p> <p>(1) 多摩郷土誌フェアについて</p> <p>それでは、「4 報告」の「(1) 多摩郷土誌フェアについて」につきまして、事務局より説明をお願いいたします。</p>
碓井文化財係長	<p>「令和7年度 多摩郷土誌フェア」につきましては、令和8年1月17日(土)・18日(日)の2日間、立川市の「立川市柴崎学習館 地下ホール」において開催させていただくことが決定しましたことをご報告させていただきます。</p> <p>開催形態につきましては、従前通り東京都多摩地域市町が刊行する「市史・文化財関連書籍」の展示・対面販売となります。</p> <p>詳細につきましては、今後、主催者である「東京都市社会教育課長会 文化財部会」の内部に設置する「担当者連絡会」の場において決定してまいりますので、市史編さん委員会委員の皆様にも遅滞なくご連絡させていただければ、と考えております。</p> <p>報告は以上です。</p>
根岸委員長	<p>ありがとうございます。ただいまの説明につきまして、何かご意見・ご質問等はございますか？</p>
委員全員	(特になし)
根岸委員長	<p>5 その他</p> <p>(1) 小金井第一小学校の校内遺跡について</p> <p>小金井第一小学校の校内遺跡(以下、小学校)について、事務局より説明をお願いいたします。</p>
高木主任(学芸員)	<p>小学校の発掘調査は、「令和7年度 第1回 市史編さん委員会」において現地視察いただきました。令和7年6～9月の約3カ月間において調査を実施しこの度終了しました。調査現場は校庭として復旧しております。</p> <p>本調査においては、非常に興味深い調査成果を得ることができたことから、令和7年9月6日(土)に「遺跡見学会」を実施し、一般公開を行うことを予定しておりましたが、前日の台風接近に伴う大雨の影響で、見学路の足場が悪くなり、見学者の安全確保が困難な状況となったため、止むを得ず中止とせざるを得ませんでした。</p> <p>しかしながら、多くの市民の方から本調査の内容や結果についてお問い合わせをいただきました。ついては、本調査の成果を座学形式で市民の皆様にご報告させていただく「発掘報告会」を、令和7年11月30日(日)午前10時より、「萌え木ホール」において開催させ</p>

	<p>ていただく運びとなりました。</p> <p>本市では、これまで遺跡調査に係る「報告会」の類の事業の実施実績はなく、初の試みではございますが、おかげさまで参加申込開始直後に定員枠が埋まった、という状況でございます。</p> <p>申込者は、小学生からご高齢の方まで、様々な層の方にお申込をいただいております、市民の皆様の関心の高さを改めて感じさせていただいているところです。</p> <p>本報告会を機に、より一層市民の方々への啓発を進めていくことができれば、と考えております。</p> <p>最後に、本調査の成果概要を説明いたします。</p> <p>最も古い時代のものでは縄文時代の石器製作跡が発見されており、他、落とし穴、集石土坑（調理場跡）が検出されております。</p> <p>その次に、小金井村の集落が営まれるようになった江戸時代の畑の跡などがはっきりと発見されております。</p> <p>昭和時代初期、太平洋戦争の戦時下に掘られた防空壕（退避壕）の跡が発見され、施設内部から、焼夷弾が59発（本調査と試掘調査の合算）発見されております。焼夷弾が多量に発見された事例はなかったことから、「小金井市史」と同時に「学校史」においても貴重な1ページとして、しっかりと記録を残させていただきました。</p> <p>現地調査終了後、整理・分析を進めており、令和8年度内に発掘調査報告書を刊行する計画です。</p>
根岸委員長	<p>ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、何かご意見・ご質問等はございますか？</p>
中嶋委員	<p>縄文時代の調理場跡が発見された、とのご説明をいただきましたが、本調査において「住居跡」は発見されたのでしょうか？</p>
高木主任（学芸員）	<p>調理場跡いわば活動の痕跡は発見されましたが、住居跡は検出されませんでした。</p>
根岸委員長	<p>他にご意見・ご質問等はございますか？</p>
大熊委員	<p>本調査を実施した小学校の敷地エリアは、埋蔵文化財包蔵地外のエリアとなっています。本調査における発掘実績に基づき、「埋蔵文化財包蔵地」指定エリアを拡張する等の措置を行う可能性はあるのでしょうか？</p>
高木主任（学芸員）	<p>本調査において貴重な遺構が数多く発見されたことから、まずは小学校の敷地エリアについて、新規に「埋蔵文化財包蔵地」に登録することを目指してまいりたいと考えております。</p>

	<p>新規に「埋蔵文化財包蔵地」を登録することによって、市域内の他のエリアにおいてもより積極的な調査に繋げていく、開発事業者への啓発に繋げていく、等の副次的な効果についても期待したいと考えています。</p>
大熊委員	<p>本調査における調査実績として、縄文時代の遺構につき、「活動」の痕跡は発見されていながら、「住居跡」は発見されなかった、とのことで、付近のエリアで調査を行う機会があれば、より大きな発見に繋がる可能性も十分にあるのでは、と考えています。</p>
根岸委員長	<p>縄文時代の人々の生活様式等から鑑みますと、国分寺崖線の上のエリアは生活利便性が非常に高いエリアであったと考えられますので、「埋蔵文化財包蔵地」の指定地域の追加・拡張につきまして、小金井市教育委員会におかれましても、是非前向きにご検討いただければ、と思います。</p> <p>他にご意見・ご質問等はございますか？</p>
委員全員	<p>(特になし)</p>
根岸委員長	<p>6 次回の会議日程候補 それでは、「6 次回の会議日程候補」につきまして、事務局より説明をお願いいたします。</p>
碓井文化財係長	<p>令和7年度 第3回 市史編さん委員会につきましては、令和8年2月5日(木)午後3時より、801会議室におきまして開催させていただきたい、というのが事務局案でございます。</p>
委員全員	<p>(異議なし)</p>
	<p>以上で本日の議題は全て終了いたしました。他に何かございますでしょうか？よろしいでしょうか？</p>
委員全員	<p>(特になし)</p>
根岸委員長	<p>それでは、以上をもちまして令和7年度 第2回 市史さん委員会を終了させていただきたいと思っております。どうもありがとうございました。</p>